

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第36号 R2.12.15

科学実験教室が開催されました

「夢ラボ」のみなさんによる科学実験教室が、11月2日に光風台小学校、25日に吉川小学校各小学校、28日に東能勢小学校で4年生から6年生を対象に行われました。この事業は、光風台小学校で2007年度から学校支援事業として始まり、2015年度からは豊能町の全ての小学校で実施されるようになりました。

今年度は、「偏光板万華鏡（物理）」「燃えるってどういうこと？（科学）」「種子分散の仕組み（生物）」「宇宙ってどんなところ？（地学）」という4つテーマで実施されました。

【活動の様子】

偏光板万華鏡	燃えるってどういうこと？	種子分散の仕組み	宇宙ってどんなところ？
			
きれい！！目の前に虹が見えたよ！！	アルコールのついた空き缶を温めると…。	植物が遠くへ種子を分散するのはなぜだろう？	宇宙で膨らませた風船はどうなるのかな？

子ども達は、楽しみながら活動に取り組み、目の前のふしぎに「なぜ？どうして？」と思考を深めていました。実験や観察を通して、子どもたちは科学の興味を広げることができました。

（大阪モデルがレッドステージへ移行したことを受け、東ときわ台小学校での実施は3学期に延期を予定しています。）

「第2回学校運営協議会設立準備委員会」延期

大阪モデルが「イエローステージ2」から「レッドステージ1」へ移行したことを受け、12月4日に吉川中学校区、22日に東能勢中学校区で予定していた「第2回学校運営協議会設立準備委員会」を延期いたしました。

なお、次の開催は以下のとおりです。

東能勢中学校区	令和3年2月5日（金）18：30～20：00	東能勢中学校
吉川中学校区	令和3年2月12日（金）18：30～20：00	西公民館

「とよの未来科」創設にむけて ～ふるさと♡とよの⑥～

10月26日に、吉川小学校学校サポーターの向井さんに案内していただき、豊かな自然が残り、動植物の宝庫である初谷川の素晴らしさを教えていただきました。初谷川は、古くから吉川地域に欠かせない貴重な資源として、人々の生活を支えてきました。現在は、川遊びや自然散策を楽しむ多くの人たちが訪れています。

【国蝶オオムラサキが飛び回る町に】

初谷川の入り口に、オオムラサキの飼育ゲージがあります。里山の象徴であるオオムラサキが飛び回ってくれることを期待して、2016年から飼育に取り組まれています。向井さんは、幼虫を見つけたときの喜びや成虫になった時の感動、また、育てることの苦労や難しさを語ってくださいました。

国蝶オオムラサキの飼育に子ども達が関わり、飼育したオオムラサキが豊能町の空を飛び回るような取り組みを地域の方々と一緒に作り上げていきたいと考えています。



（初谷川で見られる動植物）

初谷川を歩くと、四季折々に様々な動植物を見ることができます。



ミツマタ



シロミノヤブムラサキ



キツネノカミソリ



サワガニ



カラスアゲハ



サンコウチョウ

「とよの未来科」創設にむけて、これまでの豊能町で取り組まれてきた優れた実践を整理するとともに、新しい地域教材の発掘に取り組んでいきます。また、地域の方々の力も借りながら、美しい里山の保全について考えていくことも検討していきます。